

## 2022年に全学的な大学改革 高輪に観光学部や経営学部など

東海大学では2017年の建学75周年を機に、100周年に向けて学園の総合戦略である「学園マスタープラン」を策定しました。このマスタープランに基づいて、建学以来継承してきた文理融合の理念と、一貫教育を基軸とした教育・研究活動を推進するため、80周年にあたる2022年に全学的な学部の改組改編およびキャンパス再編計画を実行します。その計画の一部となる、社会科学系学部の都内キャンパスの移転について計画がまとまりました。

### 2022年度の東京キャンパス改組改編案(計画中)

高輪校舎(収容定員1,740名)

学部	学科	入学定員
情報通信学部	情報通信学科	240名
観光学部	観光学科	200名
経営学部	経営学科	230名
国際学部	国際学科	200名

渋谷校舎(収容定員800名)

学部	学科	入学定員
政治経済学部	政治学科	200名
	経済学科	200名

※両校舎ともに1・2年次は湘南キャンパスで履修

現代社会では、超少子高齢化社会、AIの進化、グローバル化など、様々な問題が急進しており、これらの諸問題に対応するには文系・理系の枠を超えた幅広い知識と理解力を身につけ、社会で活躍するための実践的な力を身につける必要があります。今回の全学的な改組改編は、来るべき社会の変化に対応し、地球市民として未来を創造していく人材を育成するための教育改革となります。高輪校舎と渋谷校舎においては校舎の建て替え、改修を実施し、経済的、社会的インパクトを与えるための技術、ビジネス、政治、エンターテインメントを統合し、学部と大学院が一体となった新たな学問体系により、グローバル社会を生き抜くための知性に基づく実践的な能力を身につけた人材を育成します。

具体的には、高輪校舎の定員数を踏まえた上で(表参照)、情報通信学部、観光学部、経営学部、国際学部の設置を計画中です。なお、改組改編およびキャンパス再編の詳細につきましては、順次東海大学のホームページで公開していく予定です。

### 高輪キャンパスニュース ディスプレイの国際会議で 情報通信学部生らが受賞

2018年12月に愛知県名古屋市内で開催された国際会議「ディスプレイ国際ワークショップ」で、情報通信学部の猿楽拓也さん(当時4年生)が Outstanding Poster Paper Awardを受賞しました。

この会議は電子ディスプレイ分野で、国際的な討議・情報交換の場を若手研究者にも提供しようと毎年開催されており、同分野の進歩を支える学会の一つです。

### ホームページをご活用ください



<http://takanawakai.jp/>

たかなわ会では、学生たちの協力を得てホームページをデザインし、会員の皆さまに情報をお届けしています。総会や高輪カミングデーをはじめとする各種イベントのご案内のほか、活動の様子や歴史、組織構成などもご紹介しています。また、各年度の収支決算などを掲載している会報「高輪だより」のバックナンバーもダウンロードしてご覧いただけます。さらに、掲示板もご利用いただけますので情報交流にぜひご利用ください。

今回の会議にも世界中から研究者が集い、3日間で472件の発表が行われました。猿楽さんは、大学院生の望月信哉さん(当時2年生)たちと開発した「完全ワイヤレス式の眼球運動測定装置」を使って、運動中の眼球運動についての新しい測定方法を提案、発表しました。指導した山田光穂教授は「学部生の受賞はとても価値があり、今後先進的研究を進めてほしい」と話しています。▼その他の高輪キャンパスの話題も東海大学のHPでご覧ください。



第47号 同窓会報

## 大学や地域と 一体となった組織へ



たかなわ会  
会長  
福田 力

会員の皆さまにはご健勝のこととお慶びを申し上げます。昨年はバレー部、今年はスキー部が創部50周年を迎え、祝賀会が盛大に開催されました。参加者全員で100周年を目指そうと決意を表明しました。

そんな中で昨年は、我々の恩師である松本弘先生の突然の悲報に接し、悲しく残念な思いで一杯になりました。本会が存続しているのも、

発行日 2019年(令和元) 8月31日  
発行所 たかなわ会  
事務局 〒108-8619  
東京都港区2-3-23  
東海大学高輪キャンパス  
情報通信学部 星野祐子気付  
運営事務局 〒225-0001  
横浜市青葉区美しが丘西2-6-25  
東海メンテナンス(株)内  
TEL.045-482-3371  
<http://takanawakai.jp/>

先生の永年のご指導の賜物です。とりわけ先生が日ごろ仰っていた、地域の皆さま、大学、同窓生が一体となった活動を継続することの大切さは、私たちの胸に強く刻み込まれています。そこで、先に退職された西脇昇祐先生にお渡しした感謝状を、今回改めて松本先生のご遺族に送らせていただきました。ご存中には固辞されたものですが、「ぜひご仏前に」とお手紙をしたためました。東海大学はいま大規模な改革を計画しており、高輪でも改組が行われます。我々もキャンパス同窓会のあり方を議論しなければなりません。しかし、地域や大学と一体となって活動するという理念は普遍です。ご理解とご協力をお願いいたします。

### スキー部が50周年祝賀会

5月18日に高輪キャンパスのホールで、高輪スキー部(スノースポーツクラブ)の創立50周年祝賀会を開催しました。若葉の輝きに満ちた季節に、たかなわ会の福田力会長はじめご来賓の方々、西脇昇祐先生を中心に歴代のOB・OGが集い、未来への絆を深めることができました。これまでご支援いただきました皆さまに、感謝を申し上げます。

思い起こせば50年前、安田武四郎先生がスキーの指導員資格を持っておられ、体育の授業の一環でスキー教室が行われ、参加した学生が集まって同好会として発足したのが最初です。部旗も手造りで、オレンジに東海の十字のデザインでした。

最初の合宿での指導員は東海大学湘南スキークラブの方々で、斎藤保彦先生、高橋哲先生らに指導していただきました。その合宿でSAJの2級に合格した私はスキーの面白さにはまってしまいました。

当時の湘南スキークラブのユニホームは紺色に黄色の2本線が入ったセーターで、先輩方が滑るとス

キー場の注目を集めていました。私たちも早く仲間に入りたいと努力した覚えがあります。その後は部員も増えて館山や狭山のスキー場などで合宿を行い、4年制大学にも負けないくらいに技術も高くなり、その時のメンバーのほとんどが全日本の指導員の資格まで取得しました。

西脇先生のもとで始めたスキー部が50周年とは、すごい歴史だと思えます。今後も若手に跡を継いでもらえますようなOB会でありたいと思います。スキーに限らずスノースポーツ全般で大きく伸びる可能性が有る団体です。指導員の先輩も数多くいますので、先輩と交流を深め、さらなる発展を期待して

います。(副会長・古川一敏/理事・石口武弘)



